

現場活動・情報収集のポイント

現場活動 情報収集 のポイント

(公財) 東京連合防火協会 【編集・発行】

目次	
必要な情報	2
消防行政上必要な情報	2
情報をもとに判断するポイント	4
段階別の収集項目とポイント	4
現場報告のポイント	8
対象別情報収集ポイント	17
消防活動に伴う意見・苦情	32
意見・苦情事案の未然防止マニュアル	32
意見・苦情事案発生時の対応マニュアル	33
意見・苦情事案発生時の対応記録票	34
交通事故発生時の処理フロー図	36
暴力行為への対応要領	37
資料	38
度量衡換算早見表	38
面積積算早見表	40
連絡先	41
隊員氏名等一覧	45

東京法令出版

- (公財) 東京連合防火協会
編集・発行
- バイブルサイズ
(170mm × 95mm : 6穴)
- 48頁
- 定価 (本体800円 + 税)
※専用バインダーは別売です。
- 耐水性に優れた用紙を採用。
破れにくく、汚れも簡単に拭き取れます。

現場で確認したい内容を、
ギュッと凝縮して
コンパクトに掲載!

詳細は
こちら!



◆ 本書の特色 ◆

- 火災における消防活動で収集すべき情報をリスト化し、分かりやすく登載
 - ・ 消防活動において、時系列ごとに収集すべき情報とポイント
 - ・ 現場報告について、報告の時期に合わせた留意事項とポイント
 - ・ 火災の対象別に収集すべき情報
- 活動時における住民等からの苦情事案の未然防止対策や交通事故・暴力事案など、現場におけるトラブルの対処方法をフローチャートで説明
- 長さ、面積、体積及び質量などの単位による換算値が一目で分かる「度量衡換算表」「面積積算早見表」を登載

内容 見本 (85%縮小)

8 現場報告のポイント (現場活動)



【現場報告のポイントをチェックしよう!】

報告区分等	留意事項とポイント	チェック
出場指令時	1 自己隊出場	
	2 指令番地の確認	
	3 付加事項の確認 (建物名称・目標等)	
	4 携帯電話の開局	
出場報告	1 各指揮隊・救助指定中隊のみ報告	
	2 各指揮隊及び救助指定中隊が同一署所から同時出場する場合は、指揮隊が出場報告 (救助指定中隊の出場を付加)	
	3 出向隊 (指揮隊・救助指定中隊を除く) の出場報告は、原則として警防本部からの解信をもって出場報告にかえる。ただし、直近 (最先到着) にいる場合は、速やかに報告	
	4 出張所長等が救助指定中隊と同時出場する場合は、その旨を付加	
出場途上報告	1 「119番」の追加情報に留意 【例】「その後の119番情報によると……の様様」	
	2 特殊車両、活動支援隊の下命を考慮	
	3 消防関係資料を確認	
	4 署隊本部の支援情報及び先着隊の無線情報を受信 (1) 署隊本部は、建物名称・要救助者情報等を積極的に情報収集 (2) 一人暮らし情報等について、出場各隊に情報提供	
認知報告	1 火煙又は飛火を最初に認知した隊のみ報告	
	2 出場途上の認知報告は、一般用語で視認した範囲で描写的に報告 【例】煙の方向・炎の色・勢い等	

(現場活動) 消防活動に伴う意見・苦情 33

意見・苦情事案発生時の対応マニュアル

を確認
たことでも安易な判断で報告を省略
判断で対応できる範囲の場合はその
が寄せられたことを中小隊長から指
を簡潔に概要だけを聴取し、指揮隊
者を差し向けることを伝達する。
決定 (原則、大隊長が対応する。)
できる場合は即対応する。
た場合は、すぐに相手と接触し、詳
聴取し、現場確認をする。
を特定する。
ことは、メモ及び写真等で記録する。
らかな錯誤・誤認等がなければ、こ
事実確認を中心に調査する。
実精査を行い、結果を早急に連絡す
える (できれば連絡期日を明確に)。
を具体的に伝え、窓口を一本化する。
必要があれば方面本部、本庁関係課へ報告)
本庁関係課の意見を参考とする。
し、署としての対応を決定する。
し、署の対応者 (一次対応者か上位
決定する。
結果を伝達する。
て具体的な対応があれば提示する。
して主張すべきことも相手に伝達す
したのか? 新たな疑問等が発生し
判断する。
、③に戻り、署の対応を再検討する。

現場での対応

二次的に対応

一人ひとりのニーズにぴったり! 『消防現場必携』の使い方

1 専用バインダーを使って……

※お手持ちのB6・6穴バインダーでも代用いただけます。

- 外寸：200mm×115mm×22mm
- 金属リング式6穴バインダー
- 定価（本体1,400円+税）

水や汚れに強いPP素材を採用

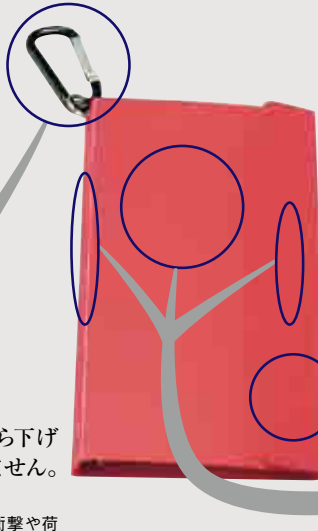
◆カラビナ



バインダー上部にカラビナ付き。安全帯にぶら下げて携行することができ、手を塞ぐことはありません。

※注意事項

付属のカラビナは、『消防現場必携』専用です。大きな衝撃や荷重が掛かる使用、重量のある物の運搬には使用しないでください。



◆面ファスナー



折り返し部分に面ファスナーを採用。バインダーの広がりを抑え、活動の妨げにならないだけでなく、書き込んだ情報や挟み込んだ資料を守ります。

◆名入れ

表紙・折り返し部分・背表紙に名入れができます。

表紙・折り返し部分・背表紙のいずれか1箇所30部まで一括30,000円(税別)の別途料金が発生します。30部以上はお問い合わせください。データをご提供いただければロゴなども入れられます。

2 専用マニュアルを綴り……

目的や用途に応じて「専用マニュアル」を組み合わせて「専用バインダー」に綴ります。ページ単位でカスタマイズすることも可能です。

◆耐水仕様

差し替え式の「専用マニュアル」は、耐水性に優れた用紙を採用。破れにくく、汚れも簡単に拭き取れます。

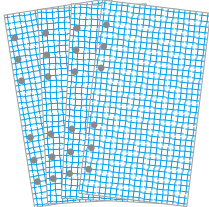
専用マニュアル ラインナップ

- 既刊 第1弾『危険物災害対処マニュアル』(96頁) ■定価(本体1,500円+税)
- 既刊 第2弾『火災調査実用マニュアル』(48頁) ■定価(本体800円+税)
- 新刊 第3弾『現場活動・情報収集のポイント』 ■定価(本体800円+税)

3 専用オプションでカスタマイズしよう。

耐水方眼メモ ■定価(本体320円+税)

「専用マニュアル」と同じ耐久性、耐水性に優れた用紙を採用。32ページ分。



ファスナー付き クリアポケット

■定価(本体350円+税)

ファスナー付きなので、カギなどの小物も落下の心配なく収納できます。



ペンホルダー ■定価(本体390円+税)

シリコンゴムリングを採用したことにより、クリップのあるお好みの筆記具を携行できます。

※ペンは付属しません。



4 自分だけの『消防現場必携』が完成!

※専用バインダーに、おおむね200ページ分を綴ることができます。

詳しい内容は、こちらまで!

東京法令

検索



東京法令出版 株式会社

☎112-0002 東京都文京区小石川5丁目17-3 (代表) ☎03(5803)3304 FAX(5803)2560
 ☎534-0024 大阪市都島区東野田町1丁目17-12 ☎06(6355)5226 FAX(6355)5227
 ☎062-0902 札幌市豊平区豊平2条5丁目1-27 ☎011(822)8811 FAX(795)6611
 ☎980-0012 仙台市青葉区錦町1丁目1-10 ☎022(216)5871 FAX(216)5684
 ☎460-0003 名古屋市中区錦1丁目6-34 ☎052(218)5552 FAX(218)5554
 ☎730-0005 広島市中区西白鳥町11-9 ☎082(212)0888 FAX(212)0018
 ☎810-0011 福岡市中央区高砂2丁目13-22 ☎092(533)1588 FAX(533)1590
 ☎380-8688 長野市南千歳町1005 (営業) ☎026(224)5411 FAX(224)5419
 (編集) ☎026(224)5412 FAX(224)5439

広くご覧ください

お申込みは
こちらから

●インターネットでお申込み
<http://www.tokyo-horei.co.jp/>
 (最新情報等もホームページをご覧ください。)

●お電話でお申込み
0120-338-272
 (携帯電話からもお申込みできます。)

●FAXでお申込み
0120-338-923